

後輩たちへのエール！ その14

2020年5月8日

社会に出て「初めて」気づいた重要なこと

◇今回は、日比野雅人さん（ヘルスケア系ベンチャー企業勤務）のエールです！

■自己紹介

2012年 岐阜県立関高等学校 卒業

2016年 千葉大学 法経学部経済学科 卒業

2016年～2018年 IT企業 勤務

2019年～現在 ヘルスケア系ベンチャー企業 勤務

はじめまして、2012年に関高校を卒業した日比野雅人と申します。

高校時代は野球部に所属しておりました。

卒業後すぐに関東に出て、今は健康弱者を救いたいという想いのもと東京のヘルスケア系ベンチャー企業に勤務しております。

今回は皆さんの高校生活と今後の将来が少しでも豊かになればと思い文章を書きました。少しでも参考になれば嬉しいです。

今回の文章は割と主張が強めですので、真に受け止める必要は全くございません。

抽象的な表現が多いので分かりづらいかもですが、最後にすぐにでも意識・実践できることを「TODO」としてまとめるのでそちらにも目を通していただくと嬉しいです。

どうぞよろしくお願いいたします！

■題目について

今回、なぜこの題目にしたかという、文字通り社会に出て初めて気づいた事があり、それを一刻も早く皆さんにお届けすることで少しでも役に立てたらなと思ったためです。

中々高校生活だけでは気づかないことです。

社会に出て「初めて」気づいた重要な事

それは「5教科の点数」でもなく「どの大学に進学したか」でもないです。

僕が今感じているのは、「人を巻き込む能力」が一番重要であるという事です。

高校時代の僕は「5教科しっかり勉強していい大学に入りさえすれば将来安泰」と考えていました。この意識のもと高校生活を過ごしていたので、今振り返るともったいない事をしたなと思っております。

当時の僕は、正直言ってコミュニケーション能力が圧倒的に不足していました。というよりも、一定の人意外とはコミュニケーションを取らない視野の狭い人間でした。特に誰かの手を借りる事もなく、これを言うと怒られるかもしれませんが授業中によく内職をしていたり寝たり、とにかく自分が正しい、自分より点数の低い人間は滑稽とさえも思っていました。

もちろん今の僕は上記の様な考えは一切持っていないのでご安心ください。笑

このような生活を送り、受験も就活も特につまづく事なく社会人を迎えました。

「社会に出ても余裕だろう」とずっと思っていました。

しかし、社会人生活を送るにつれ少しずつ違和感を感じたのです。

「俺って全く使えないいな」「信用されていないのでは？」

「もっとできるやつたくさんいるな」と。

「仕事ができる」の「仕事」にも色々捉え方があるのですが、やはり社会に出て活躍している人間が共通して持っている能力は「人を巻き込む能力」だと言う事に気づいたのです。ある目的を達成するためには、「人を巻き込む」のが重要であり、「人を巻き込む」には、それぞれ価値観や立場の違う人間に信用してもらい物事を進める必要があります。

■人を巻き込む能力が重要な理由

人を巻き込む能力は必要な理由は、受験に比べ仕事の方が圧倒的にステークホルダーが増えるためです。社内社外の人間と関わっていく必要があります、それぞれの信頼を勝ち得て初めて仕事が上手くいきます。受験勉強は個人戦と言われることが多いですが、仕事のほとんどは団体戦です。

例えばある会社に商品売り込む際、窓口担当者から決裁者の部長まで数十人の人間が関わる場合が多いです。自分自身の信用を高め、窓口担当者に部長や関係者を説得してもらう必要があります。でないと部長に会う事すらできないのです。

今思うと、こういった人を巻き込む能力を学生時代に養ってこなかった僕が社会に出て通用しなかったのは当たり前です。

2社目に転職してからもしばらくは中々積極的にコミュニケーションができず、成果が出ないため先輩の前で泣いたこともあります。ある時を境に、自分だけではなく他の同僚にも意見を求め、みんなで仕事を遂行する事を意識した結果少しずつ物事が良い方向に向くようになったのです。物事をよくするために意識したことを次項に書きました。

■人を巻き込む能力を養うための TODO

この能力を養うためにはあらゆる事を考慮する必要がありますが、3つ厳選します。もちろん文章を書いている僕も絶賛実践中です。これを実践するだけで人を巻き込む能力が付くのかと問われると確実に YES とは言えないですが、実践して損はないと思います。

①相手をすぐに否定することなく意見を徹底的に聞く

人はみな生きてきた環境や現在の立場などがそれぞれ違い、持っている価値観も異なります。それにも関わらず、自分の発言をすぐに否定されると相手が嫌な気分になるのは確実ですし、信頼も勝ち取ることができません。「でも」と一旦相手の意見を否定する事なく、「分かります」とうなずいた上で「しかし」と自分の意見を展開することをお勧めします。

②質問する前に自分の考えを整理し伝える

人の時間は有限です。何事もまずは自分で調べ、考えを整理し伝えるようにしましょう。考えを伴った質問をすると相手も答え甲斐があると感じますし、フィードバックの質も高まるでしょう。先生への質問でも意識してみましよう。

③とにかく give する

この意識が最も重要だといっても過言ではないかと思えます。人は損得勘定で動く人がほとんどです。※悪い意味ではないです。やはり社会に出て活躍する人は、働く仲間が困っていたら助ける意識が非常に強いなと感じております。そして、自分が give した分 take することができます。受験勉強においても困っている人がいたら積極的に助けてあげるようにしましょう。

これらの事を意識し実践することで、「信用」されるようになり、やがてそれが「給料」として反映されるのが社会人なのではないかと思っております。

■最後に

なかなか主張が強い文章でしたが、僕は綺麗な文章が書けないのでこのような形になりました。僕自身も、高校時代の反省を活かし行動はしていますが、まだまだ人を巻き込む能力に長けていると胸を張って言う事は出来ません。みなさまへのメッセージであると同時に、自分へのメッセージであるとも思っています。

現在コロナウイルスの影響で、クラスメイトや先生に会う事が難しく大変かとは思いますが、高校生活は人を巻き込む能力を養う事ができる絶好のチャンスだと思います。

クラスメイトと積極的にコミュニケーションを取り、5教科の点数をとる能力だけでなく、是非人を巻き込む能力を意識して頂けると嬉しいです。

以上、ありがとうございました。

関高校が今以上に素晴らしい学校になることを祈っております！

